

インドネシア

プラボウォ大統領 建設計画発表

ジャワ島北部海岸沿いに「防波堤」

日本、中国、韓国企業に参入呼びかけ 事業期間目標20年

インドネシアのプラボウォ大統領は12日、ジャワ島北部の海岸沿いに約500kmに及ぶ「防波堤」を建設する計画を発表した。現地メディアが伝えた。報道によると海岸浸食による地盤沈下対策のため建設するもので、建設事業費は約800億米ドル(約11兆5000億円)を見込み、事業期間は20年を目標にしている。

防波堤建設は1995年から計画されていたが、遅々として進んでいないことからプラボウォ氏は「もう遅らせない」と発言し、近く政府内に対応機関を設置すると説明した。日本や中国、韓国の企業の参入も呼びかけている。すでに国家開発企画庁(BAPPENAS)は、ジャカルタを含めた5都市沿岸域の保護に焦点を当てた優先プロジェクトを策定している。

